



国際ロータリークラブ第2670地区徳島第2分区

美馬ロータリークラブ週報

2011年8月30日 火曜日 Vol.256

- 例会出席者 23名(会員総数32名) 出席率 71.87%
- メーキャップ 廣川公利君、川田勝義君、森廣一君 修正出席率 81.25%
- ゲスト 徳島県議会議員 藤田元治様
- 会長挨拶 藤野章二会長

美馬市も年々寂しくなります。合併当初約36,000人あった人口が、今32,000人強、毎年自然減と社会動態を併せて、400～500人の人口が減っている事になります。

周辺部の集落のくが、今や限界集落と言われる現状の中、出生率もフランス、アメリカ並みの2人台に上昇するのは子育て環境等の飛躍的な充実があったとしても、良くて数10年先の話でしょう。

逆に私達団塊世代が、後期高齢者の仲間入りをする平成35年・平成36年頃になると、減少傾向は、加速度的にアップする事でしょう。国をあげて、県をあげて、人口問題は、真剣に腰を据え明確な数値目標を設定した上での国民的努力が必要でしょう。

本日の外部卓話でお招きしている徳島県議会議員藤田元治様には、県政報告と共に幅広い視点からの当市の将来、ビジョン等々お聞かせ頂けたら幸いです。講師先生、よろしく願いいたします。

■ 幹事報告 前田豊太郎幹事

◇ 到着週報 … 鴨島RC

◇ 到着書類

- ・ 第2670地区ガバナーエレクト事務所開設の案内。
- ・ 2011年～2012年度徳島分区分担金のお願い。
- ・ 高知西RCより40周年記念誌の贈呈。

◇ 連絡事項

- ・ 地区大会への交通機関として貸切バス手配いたします。利用する方は回覧版にご記入下さい。

■ 委員会報告

ありません。

■ 外部卓話 徳島県議会議員 藤田元治様 《現状打開、49歳の挑戦》

県議会も五月臨時会、六月定例会が開催され、議会の組織づくり、当初予算が骨格予算だったための肉付け予算が審議されました。私は、常任委員会は経常任委員会、特別委員会は関西広域連合特別委員会に所属することが決定いたしました。しっかりと現状認識すると同時にチェック・提言してまいりたいと思います。

今、「百年に一度の経済危機」と「千年に一度の大震災」、混乱した国政の中、徳島県にそして美馬市を含む地方に何が求められ、何を為すべきかを考察しながら、議員活動の糧とすべき情報を広く集め、広域行政時代を迎えた県議会議員として、確かな成果を出す力を蓄える事が必要不可欠であると認識しております。

同時に、選挙の時に訴えてきた「県政をもっと身近に！」を実行すべく、皆様方の元に訪問し、具体的なお意見を頂いて、それを県政に反映することが非常に重要だと考えております。

現状打開49歳の挑戦が始まります。4年間全力主義で全力疾走いたします。相変りませぬのご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

<以下の点についてスライドを使って説明をしていただきました>

①「徳島県の現状と課題」

- ②「少子高齢化・人口減少」
- ③「東海・東南海・南海」の三連地震
- ④「交流の活性化」
- ⑤「徳島の新たな挑戦」
- ⑥「陸・海・空」地域づくりの推進
- ⑦「新しい次元の行政手法」
- ⑧「出先機関概要」の完全払拭
- ⑨「課題解決・先進展」徳島づくりの推進

『「百年に一度の経済危機」・「東日本大震災」等の影響により、社会経済情勢は、行先き不透明感・閉塞感が漂い未曾有の「国難」に直面いたしております。これらの事は、私達に自然の驚異とともに、ある種の警告を与えたのではないかと考えてなりません。今後、「日本」が、そして「地方」が大きく変わる予感がします。こんな時だからこそ、皆さんのご意見をお聞かせください。徳島県に対して、美馬市に対して、私に対して、そして日本に対して。

何でも結構です。意見をお聞かせください。一生懸命考え、行動し、皆様の思いが実現できるように頑張ります。

■ ニコニコ

川田勝義君、長浦保福君

■ 欠席者

千葉正樹君、浪越繁男君、林秀樹君、藤田茂樹君、小田教仁君、小野一史君、澤田篤也君、山内浩司君、美馬真澄君

メーキャップしましょう。